

入学試験問題



地理歴史

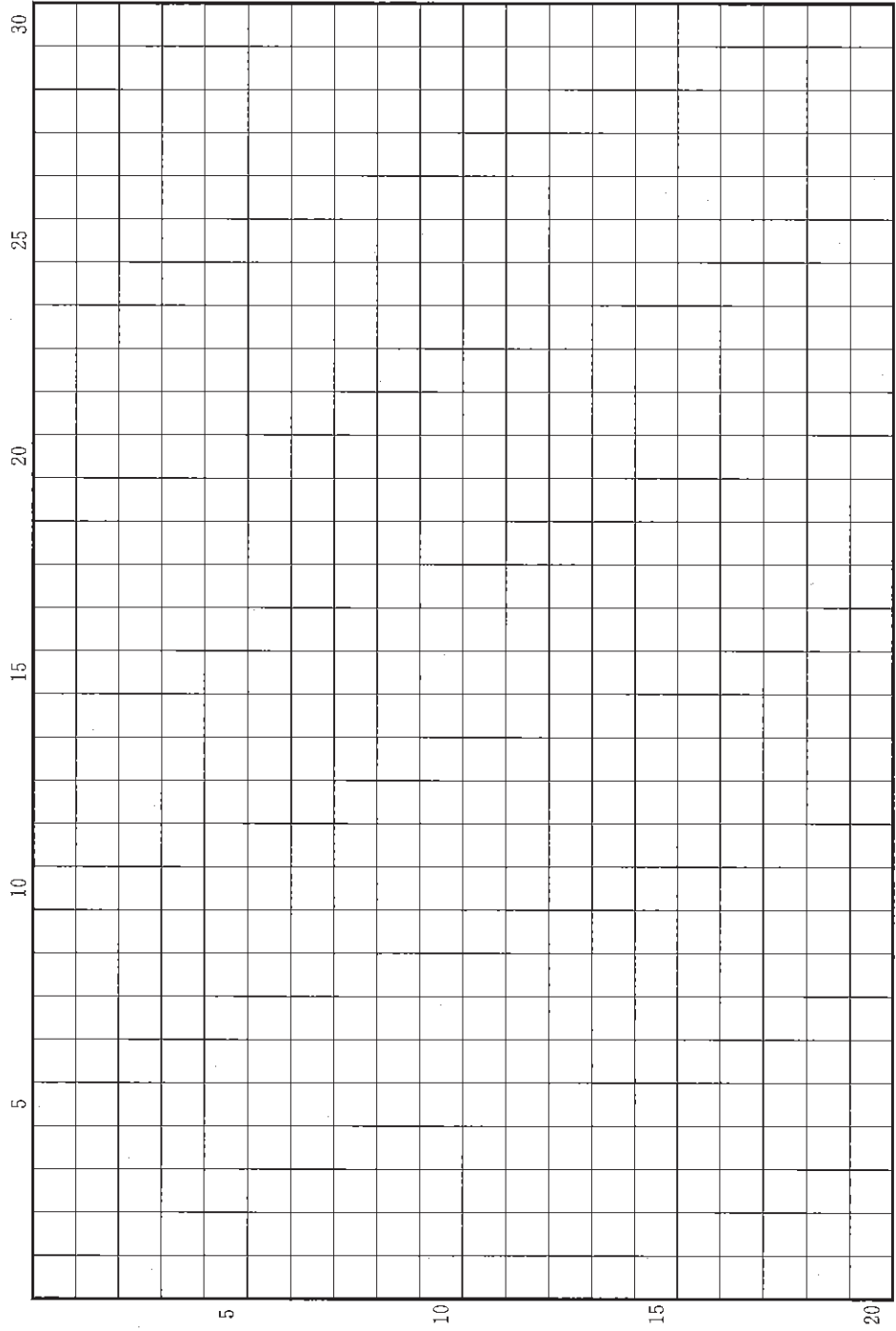
(配点 120 点)

平成 31 年 2 月 26 日 9 時 30 分—12 時

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 この問題冊子は全部で 43 ページあります(本文は日本史 4 問 4～13 ページ, 世界史 3 問 14～25 ページ, 地理 3 問 26～43 ページ)。
落丁, 乱丁または印刷不鮮明の箇所があったら, 手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 日本史, 世界史, 地理のうちから, あらかじめ届け出た 2 科目について解答しなさい。
- 4 解答には, 必ず黒色鉛筆(または黒色シャープペンシル)を使用しなさい。
- 5 解答は, 1 科目につき 1 枚の解答用紙を使用しなさい。
- 6 解答用紙の指定欄に, 受験番号(表面 2 箇所, 裏面 1 箇所), 科類, 氏名を記入しなさい。指定欄以外にこれらを記入してはいけません。
- 7 解答は, 必ず解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
- 8 解答用紙表面上方の指定された()内に, その用紙で解答する科目名を記入しなさい。
- 9 解答用紙表面の上部にある切り取り欄のうち, その用紙で解答する科目の分のみ 1 箇所をミシン目に沿って正しく切り取りなさい。
- 10 解答用紙の解答欄に, 関係のない文字, 記号, 符号などを記入してはいけません。また, 解答用紙の欄外の余白には, 何も書いてはいけません。
- 11 この問題冊子の余白は, 草稿用に使用してもよいが, どのページも切り離してはいけません。
- 12 解答用紙は, 持ち帰ってはいけません。
- 13 試験終了後, 問題冊子は持ち帰りなさい。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



日 本 史

第 1 問

10 世紀から 11 世紀前半の貴族社会に関する次の(1)~(5)の文章を読んで、下記の設問 A・B に答えなさい。解答は、解答用紙(イ)の欄に、設問ごとに改行し、設問の記号を付して記入しなさい。

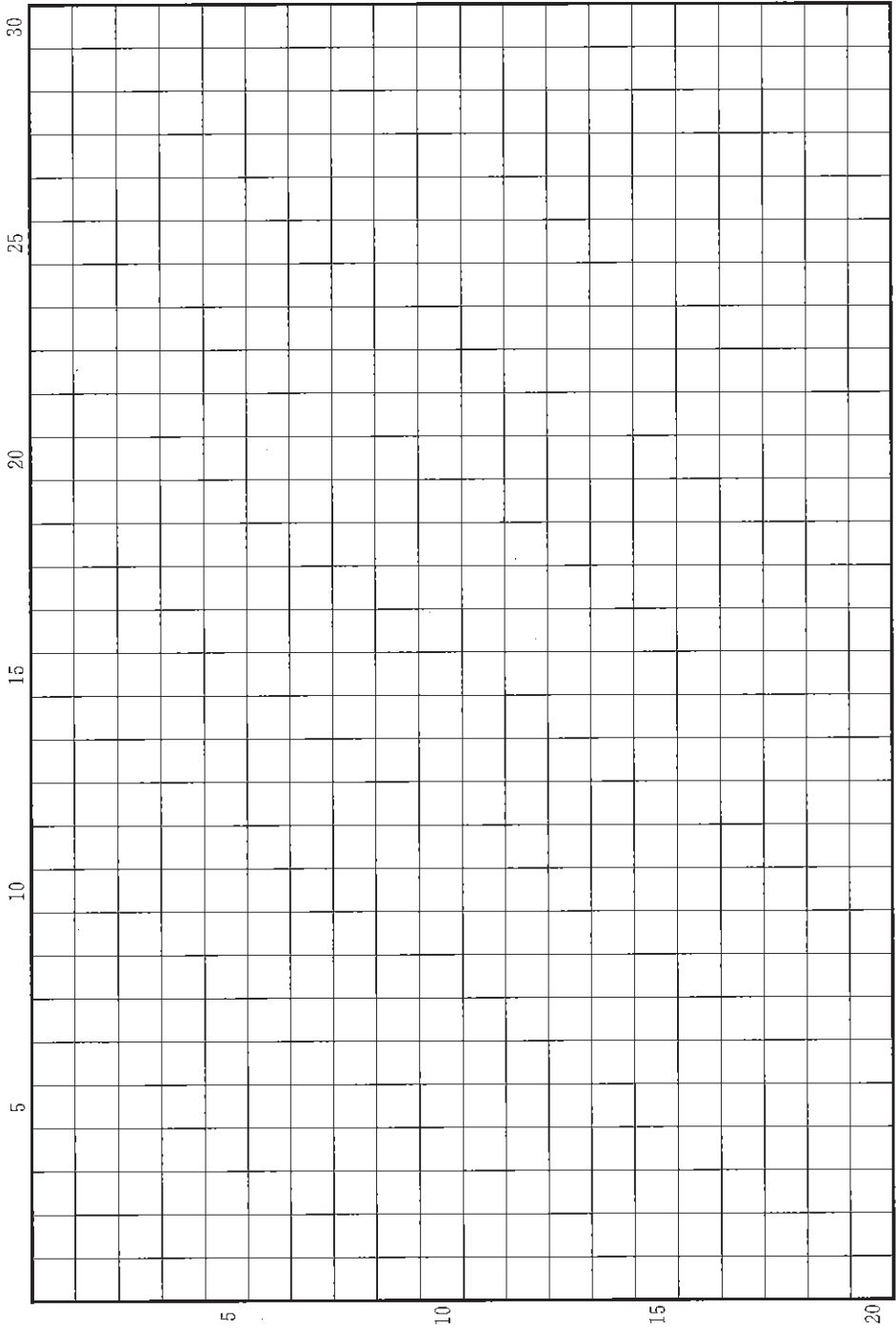
- (1) 9 世紀後半以降、朝廷で行われる神事・仏事や政務が「年中行事」として整えられた。それが繰り返されるにともない、あらゆる政務や儀式について、執り行う手順や作法に関する先例が蓄積されていき、それは細かな動作にまで及んだ。
- (2) そうした朝廷の諸行事は、「上卿」と呼ばれる責任者の主導で執り行われた。「上卿」をつとめることができるのは大臣・大納言などであり、また地位によって担当できる行事が異なっていた。
- (3) 藤原^{あきみつ}顕光は名門に生まれ、左大臣にまで上ったため、重要行事の「上卿」をつとめたが、手順や作法を誤ることが多かった。他の貴族たちはそれを「前例に^{たが}違う」などと評し、顕光を「至愚(たいへん愚か)」と嘲笑した。
- (4) 右大臣藤原^{さねすけ}実資は、祖父左大臣藤原^{さねより}実頼の日記を受け継ぎ、また自らも長年日記を記していたので、様々な儀式や政務の先例に通じていた。実資は、重要行事の「上卿」をしばしば任されるなど朝廷で重んじられ、後世、「賢人右府(右大臣)」と称された。
- (5) 藤原道長の祖父である右大臣藤原^{もろすけ}師輔は、子孫に対して、朝起きたら前日のことを日記につけること、重要な朝廷の行事と天皇や父親に関することは、後々の参考のため、特に記録しておくことを遺訓した。

設 問

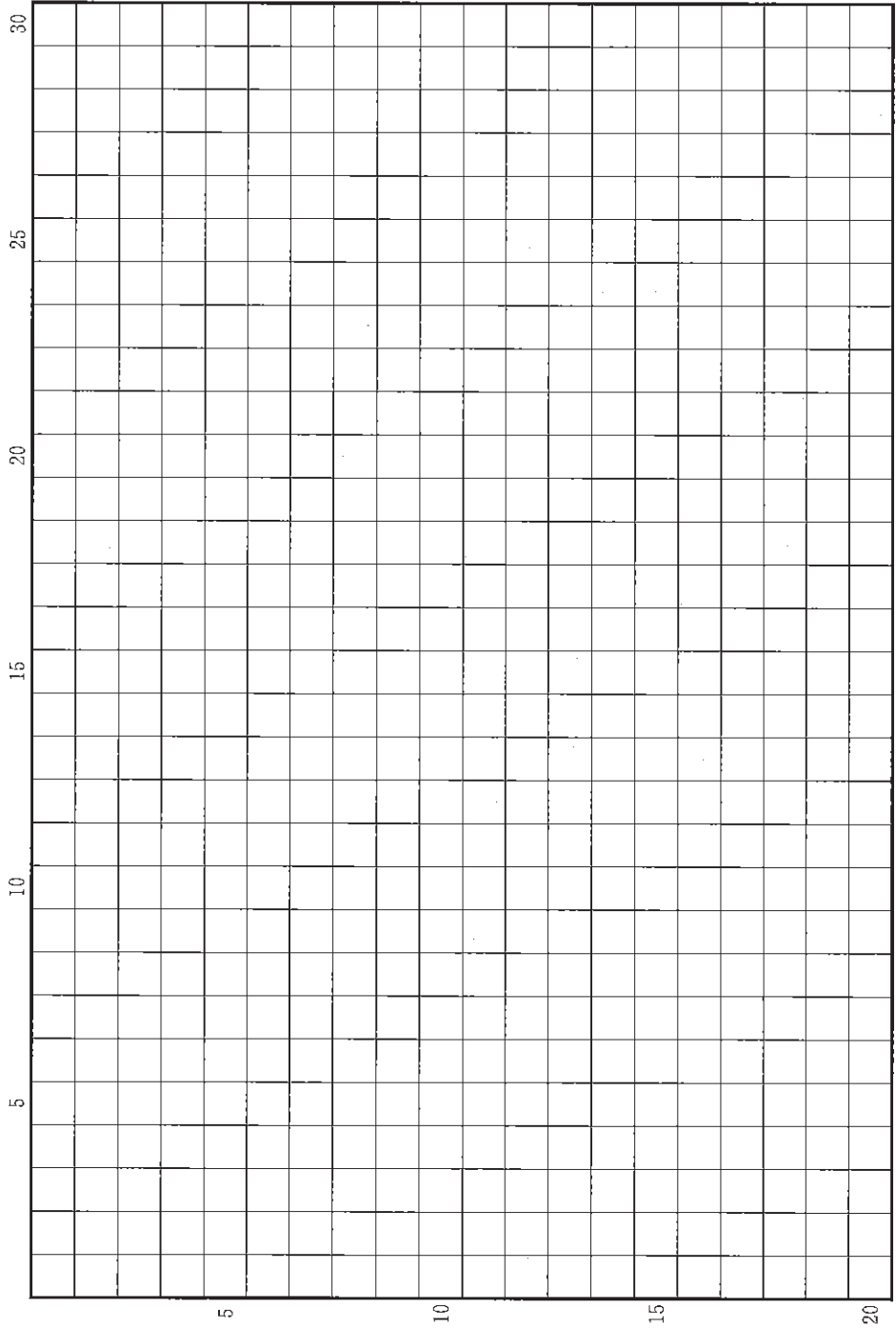
A この時代の上級貴族にはどのような能力が求められたか。1行以内で述べなさい。

B この時期には、『御堂関白記』(藤原道長)や『小右記』(藤原実資)のような貴族の日記が多く書かれるようになった。日記が書かれた目的を4行以内で述べなさい。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



第 2 問

次の(1)~(3)の文章を読んで、下記の設問A・Bに答えなさい。解答は、解答用紙(口)の欄に、設問ごとに改行し、設問の記号を付して記入しなさい。

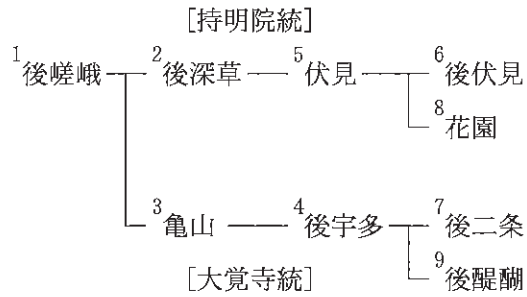
- (1) 1235年、隠岐に流されていた後鳥羽上皇の帰京を望む声が朝廷で高まったことをうけ、当時の朝廷を主導していた九条道家は鎌倉幕府に後鳥羽上皇の帰京を提案したが、幕府は拒否した。
- (2) 後嵯峨上皇は、後深草上皇と亀山天皇のどちらが次に院政を行うか決めなかった。そのため、後嵯峨上皇の没後、天皇家は持明院統と大覚寺統に分かれた。
- (3) 持明院統と大覚寺統からはしばしば鎌倉に使者が派遣され、その様子は「競馬のごとし」と言われた。

設 問

A 後鳥羽上皇が隠岐に流される原因となった事件について、その事件がその後の朝廷と幕府の関係に与えた影響にもふれつつ、2行以内で説明しなさい。

B 持明院統と大覚寺統の双方から鎌倉に使者が派遣されたのはなぜか。次の系図を参考に、朝廷の側の事情、およびAの事件以後の朝廷と幕府の関係に留意して、3行以内で述べなさい。

系図



* 数字は天皇に即位した順

第 3 問

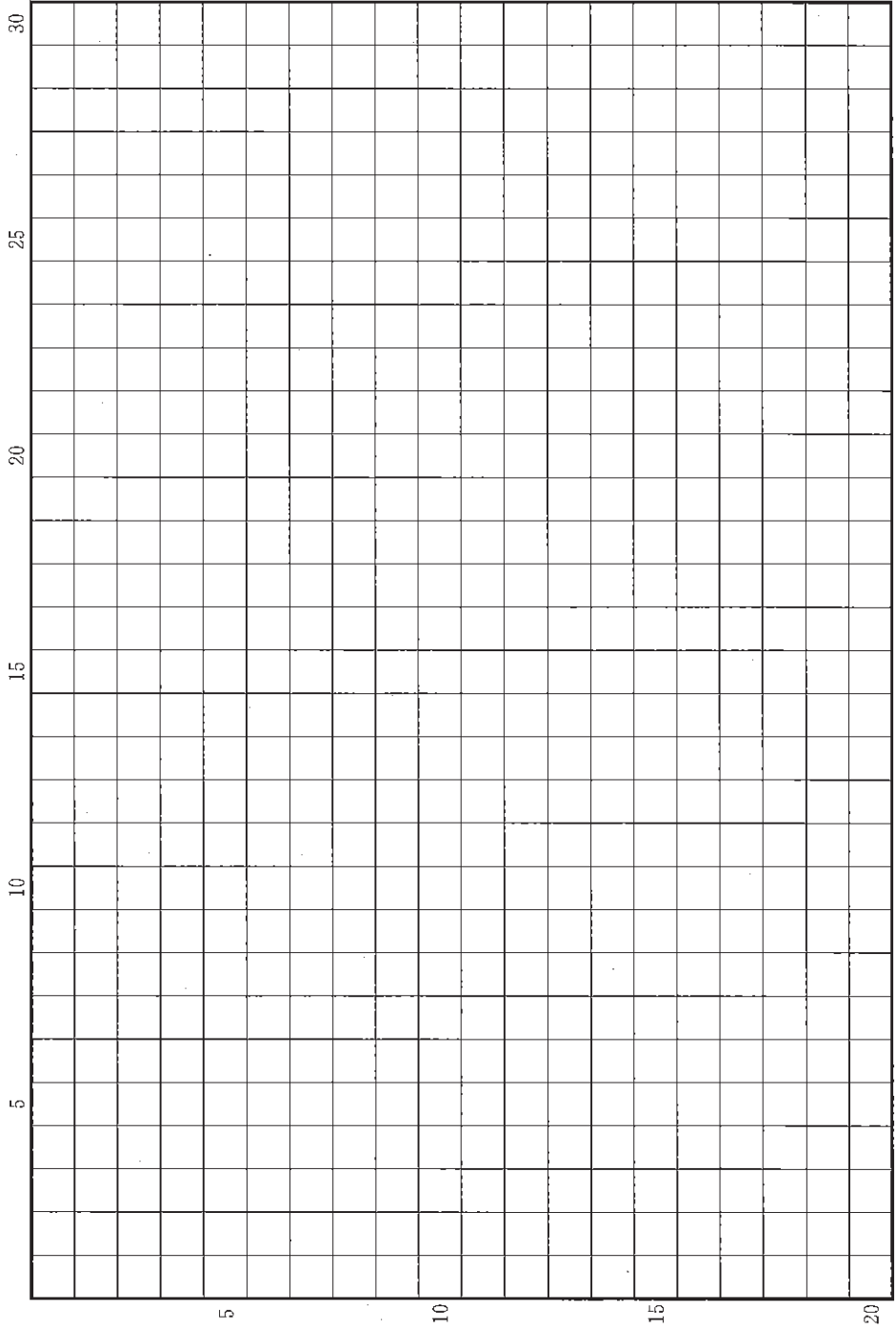
次の(1)～(4)の文章を読んで、下記の設問A・Bに答えなさい。解答は、解答用紙(ハ)の欄に、設問ごとに改行し、設問の記号を付して記入しなさい。

- (1) 17世紀を通じて、日本の最大の輸入品は中国産の生糸であった。ほかに、東南アジア産の砂糖や、朝鮮人参^{にんじん}などの薬種も多く輸入された。それらの対価として、初めは銀が、やがて金や銅が支払われた。
- (2) 江戸幕府は1685年に、長崎における生糸などの輸入額を制限した。1712年には京都の織屋に日本産の生糸も使用するよう命じ、翌年には諸国に養蚕や製糸を奨励する触れを出した。
- (3) 1720年には、対馬藩に朝鮮人参を取り寄せるよう命じ、栽培を試みた。その後、試作に成功すると、1738年には「江戸の御用達町人^{ごようたし}に人参の種を販売させるので、誰でも希望する者は買うように」という触れを出した。
- (4) 1727年に幕府は、薩摩藩士を呼び出し、その教えに従って、サトウキビの栽培を試みた。その後も引き続き、製糖の方法を調査・研究した。

設 問

- A 江戸幕府が(2)～(4)のような政策をとった背景や意図として、貿易との関連では、どのようなことが考えられるか。2行以内で述べなさい。
- B そうした政策をとった背景として、国内の消費生活において、どのような動きがあったと考えられるか。それぞれの産物の用途に留意して、3行以内で述べなさい。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



第 4 問

20 世紀初頭の日本の機械工業は、力織機や小型のポンプなど繊維産業や鉱山業で用いられる比較的簡易な機械を生産して、これらの産業の拡大を支えていた。また、造船業は国の奨励政策もあって比較的発展していたが、紡績機械をはじめ大型の機械は輸入されることが多かった。一方、高度経済成長期には、輸出品や耐久消費財の生産も活発で、機械工業の発展が著しかった。

次の(1)・(2)の文章は、この二つの時期にはさまれた期間の機械工業について記したものである。これらを読み、機械類の需要や貿易の状況に留意しながら、下記の設問 A・B に答えなさい。解答は、解答用紙(二)の欄に、設問ごとに改行し、設問の記号を付して記入しなさい。

- (1) このたびのヨーロッパの大戦は我が国の工業界にかつてない好影響をもたらし、各種の機械工業はにわかに活況を呈した。特に兵器、船舶、その他の機械類の製作業はその発展が最も顕著で、非常な好況になった。

(農商務省工務局『主要工業概覧』1922 年による)

- (2) 近來特に伸びの著しい機種は、電源開発に関連した機械類や小型自動車及びスクーター、蛍光灯などの新しい機種である。輸出額では船舶(大型タンカー)が 40 % 近くを占めて機械輸出の主力をなし、繊維機械、ミシン、自転車、エンジン、カメラ、双眼鏡など比較的軽機械に類するものが好調である。

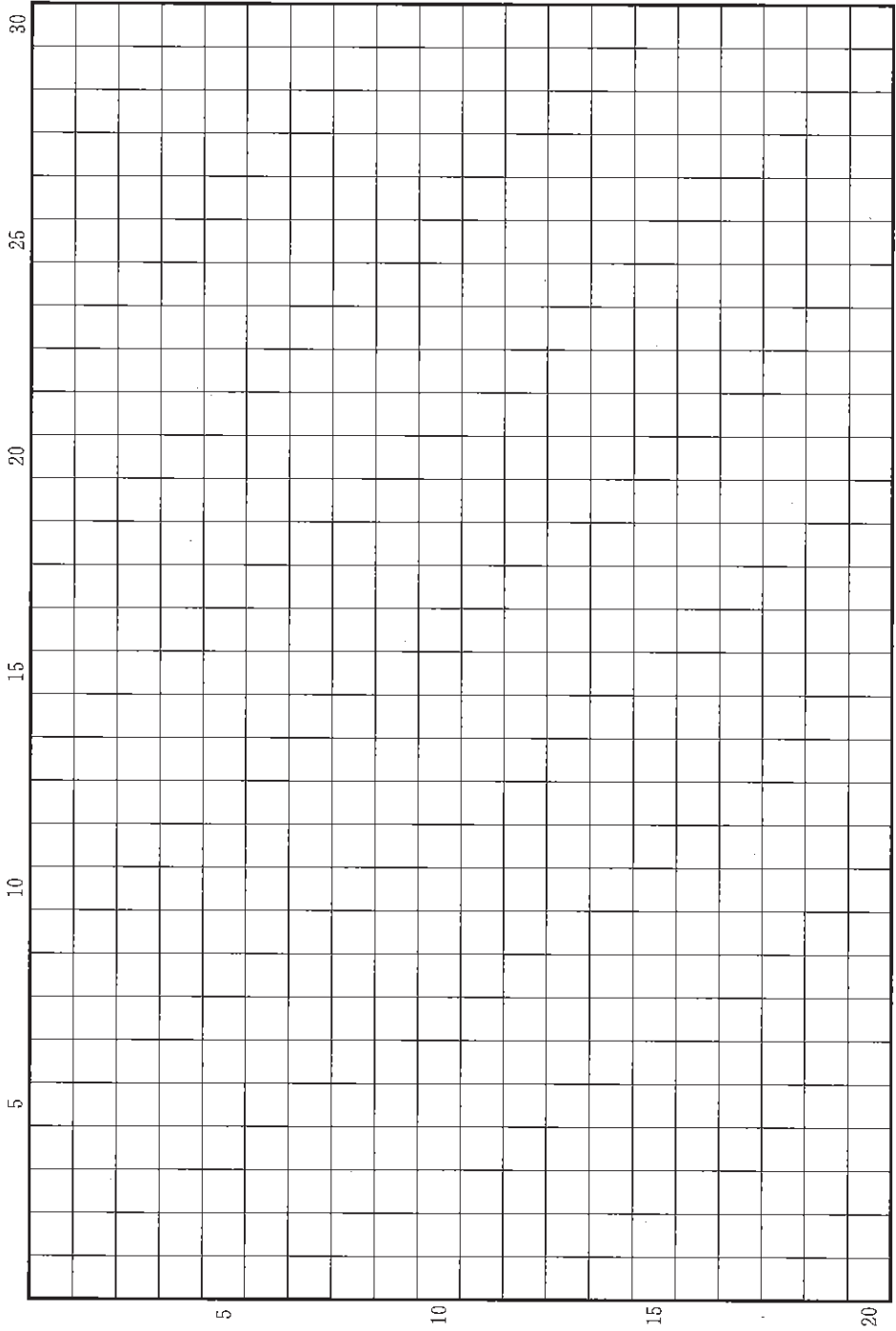
(通商産業省重工業局『機械器具工業の概況と施策』1953 年による)

設 問

A (1)に示された第一次世界大戦期の機械工業の活況はなぜ生じたのか。3 行以内で述べなさい。

B (2)はサンフランシスコ平和条約が発効した直後の状況を示す。この時期の機械工業の活況はどのような事情で生じたのか。3 行以内で述べなさい。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



世界史

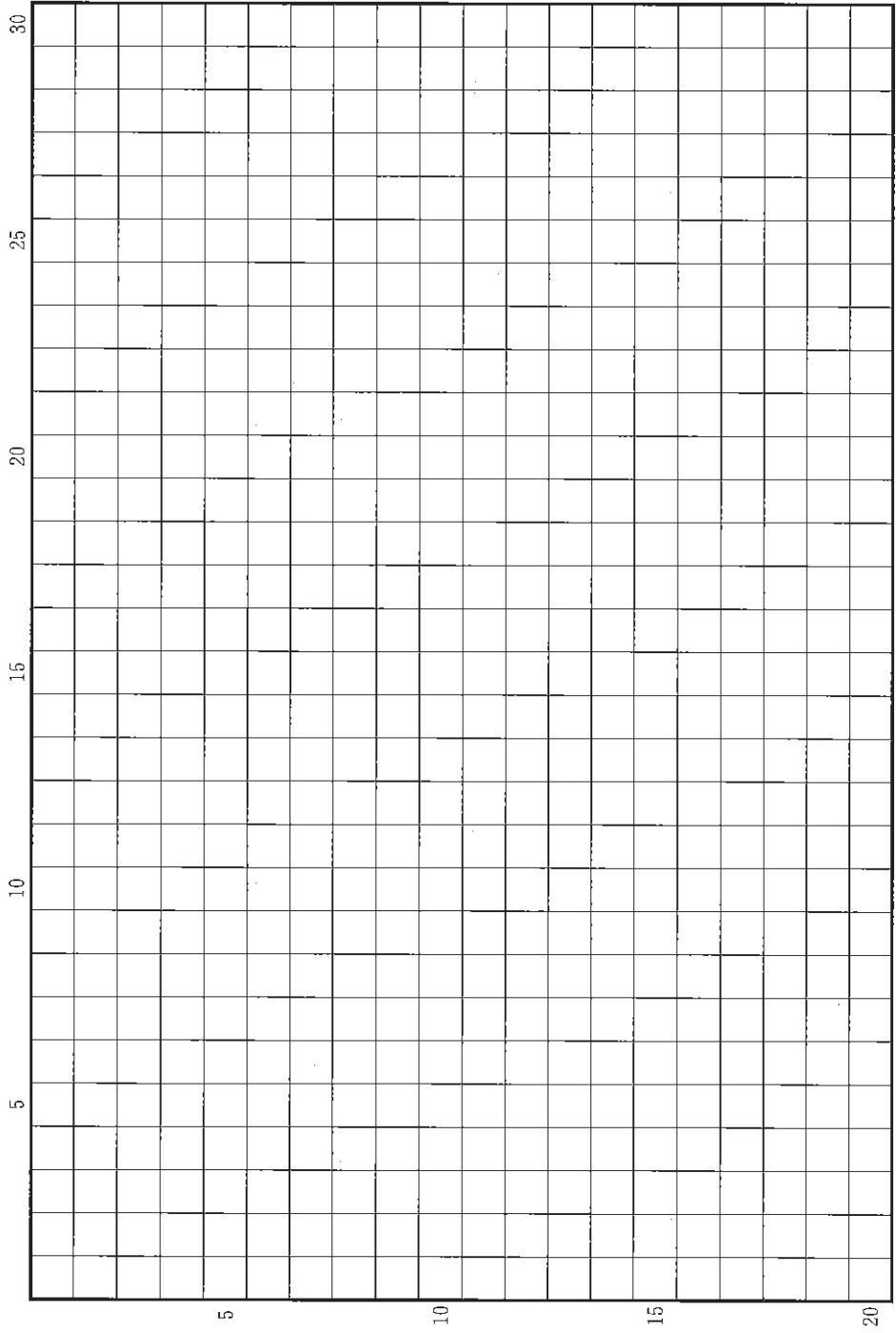
第 1 問

1989年(平成元年)の冷戦終結宣言からおよそ30年が経過した。冷戦の終結は、それまでの東西対立による政治的・軍事的緊張の緩和をもたらし、世界はより平和で安全になるかに思われたが、実際にはこの間、地球上の各地で様々な政治的混乱や対立、紛争、内戦が生じた。とりわけ、かつてのオスマン帝国の支配領域はいくつかの大きな紛争を経験し今日に至るが、それらの歴史的起源は、多くの場合、オスマン帝国がヨーロッパ列強の影響を受けて動揺した時代にまでさかのぼることができる。

以上のことを踏まえ、18世紀半ばから1920年代までのオスマン帝国の解体過程について、帝国内の民族運動や帝国の維持を目指す動きに注目しつつ、記述しなさい。解答は、解答欄(イ)に22行以内で記し、必ず次の8つの語句を一度は用いて、その語句に下線を付しなさい。

アフガーニー	ギュルハネ勅令	サウード家
セーヴル条約	日露戦争	フサイン＝マクマホン協定
ミドハト憲法	ロンドン会議(1830)	

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)

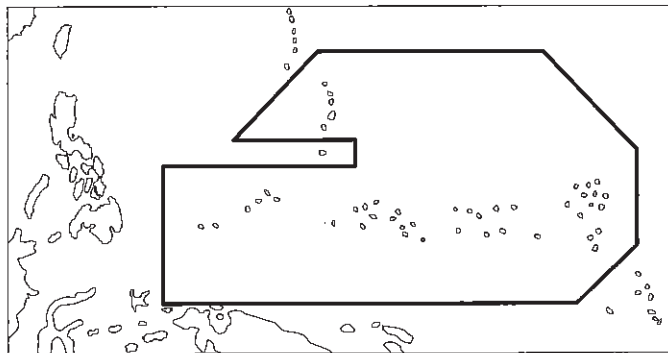


第 2 問

国家の歴史は境界線と切り離せない。境界をめぐる争いは絶え間なく起こり、現地生活を無視して恣意的に境界線が引かれることも頻繁であった。このことを踏まえて、以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄(口)を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)~(3)の番号を付して記しなさい。

問(1) 19世紀半ば以降、南アジアではイギリスによる本格的な植民地支配が進展した。英領インドを支配する植民地当局は1905年にベンガル分割令を制定したが、この法令は、ベンガル州をどのように分割し、いかなる結果を生じさせることを意図して制定されたのかを3行以内で説明しなさい。

問(2) 太平洋諸地域は近代に入ると世界の一体化に組み込まれ、植民地支配の境界線が引かれた。このことに関連する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。



地図

(a) 地図中の太線で囲まれた諸島が、19世紀末から1920年代までにたどった経緯を2行以内で説明しなさい。

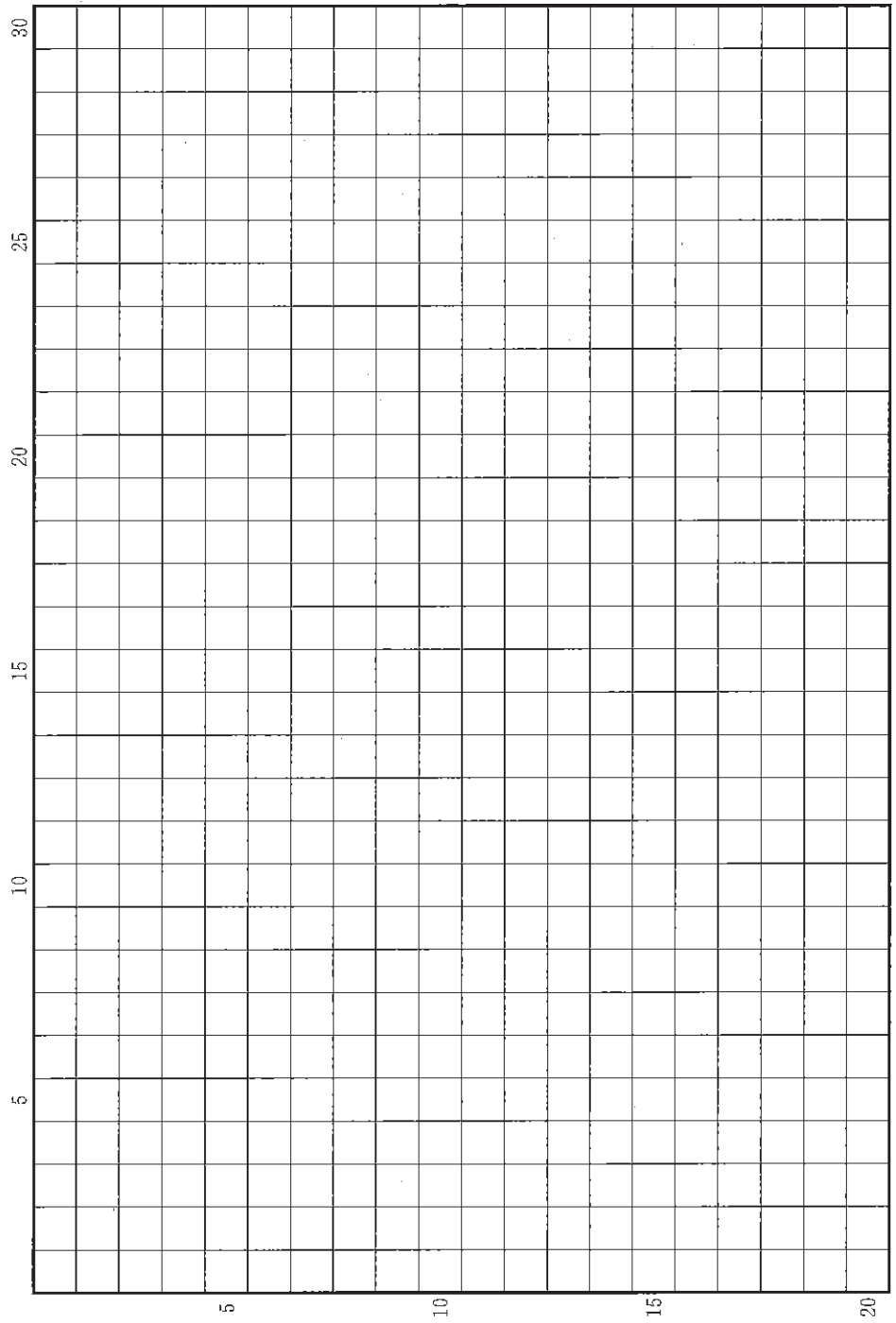
(b) ニュージーランドが1920~30年代に経験した、政治的な地位の変化について2行以内で説明しなさい。

問(3) 1990年代後半より、中国と韓国の間で、中国東北地方の帰属の歴史的解釈をめぐる対立が生じた。このことに関連する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

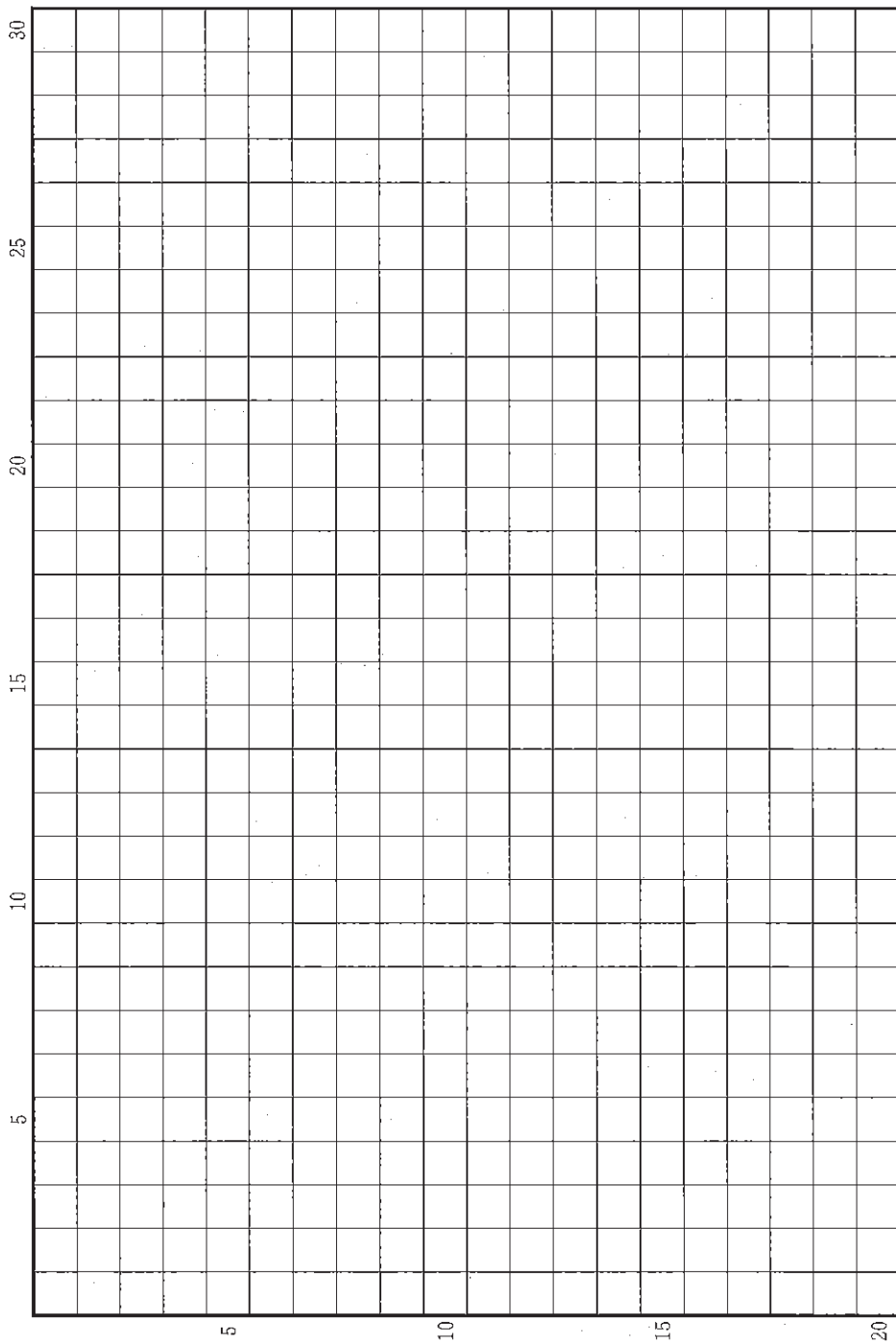
(a) 当時の韓国の歴史教科書では、韓国史は「満州と韓半島」を舞台に展開した、とされている。その考え方の根底にある4～7世紀の政治状況について、2行以内で説明しなさい。

(b) 中国は、渤海の歴史的帰属を主張している。その根拠の1つとされる、渤海に対する唐の影響について、2行以内で説明しなさい。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



第 3 問

歴史上、人の移動によって世界各地の異なる文化が交わり、知識や技術、ものが伝播し、その結果、人々の生活や意識に変化がもたらされた。このことに関連する以下の設問(1)~(10)に答えなさい。解答は、解答欄(ハ)を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)~(10)の番号を付して記しなさい。

問(1) アレクサンドロス大王の東方遠征によりエジプト、ギリシアからインダス川に至る大帝國が樹立されると、その後 300 年ほどの間に東西文化の融合が進み、ポリスの枠にしばられない普遍的な立場から価値判断をしようとする考えが生まれてきた。このような考え方を何というか、記しなさい。

問(2) 季節風の発見により活発になったインド洋交易は、各地の産物のみならず、様々な情報ももたらした。1 世紀にこの交易に携わったギリシア人が、紅海からインド洋にかけての諸港市やそこで扱われる交易品について記録した書物の名を記しなさい。

問(3) ユーラシアの東西に位置した後漢とローマ帝國は、何度か直接の交流を試みた。97 年に西方の「大秦」に使者を派遣した後漢の西域都護の名を記しなさい。

問(4) 唐の時代、多くの仏教僧がインドを訪れ、經典や様々な情報を持ち帰った。それらの仏教僧のうち、海路インドを訪れ、インドおよび東南アジアで見聞した仏教徒の生活規範・風俗などを『南海寄帰内法伝』として記録した人物の名を記しなさい。

問(5) ノルマン人は、8 世紀後半から海を通じてヨーロッパ各地へ遠征し、河川をさかのぼって内陸にも侵入した。彼らの一派が建てたキエフ公国は何という川の流域にあるか。川の名を記しなさい。

問(6) インド洋交易の主役となったムスリム商人は、10世紀以降、アフリカ東岸のモンバサやザンジバルなどに居住した。彼らの活動に伴ってアラビア語の影響を受けて発達し、アフリカ東海岸地帯で共通語として用いられるようになった言語の名を記しなさい。

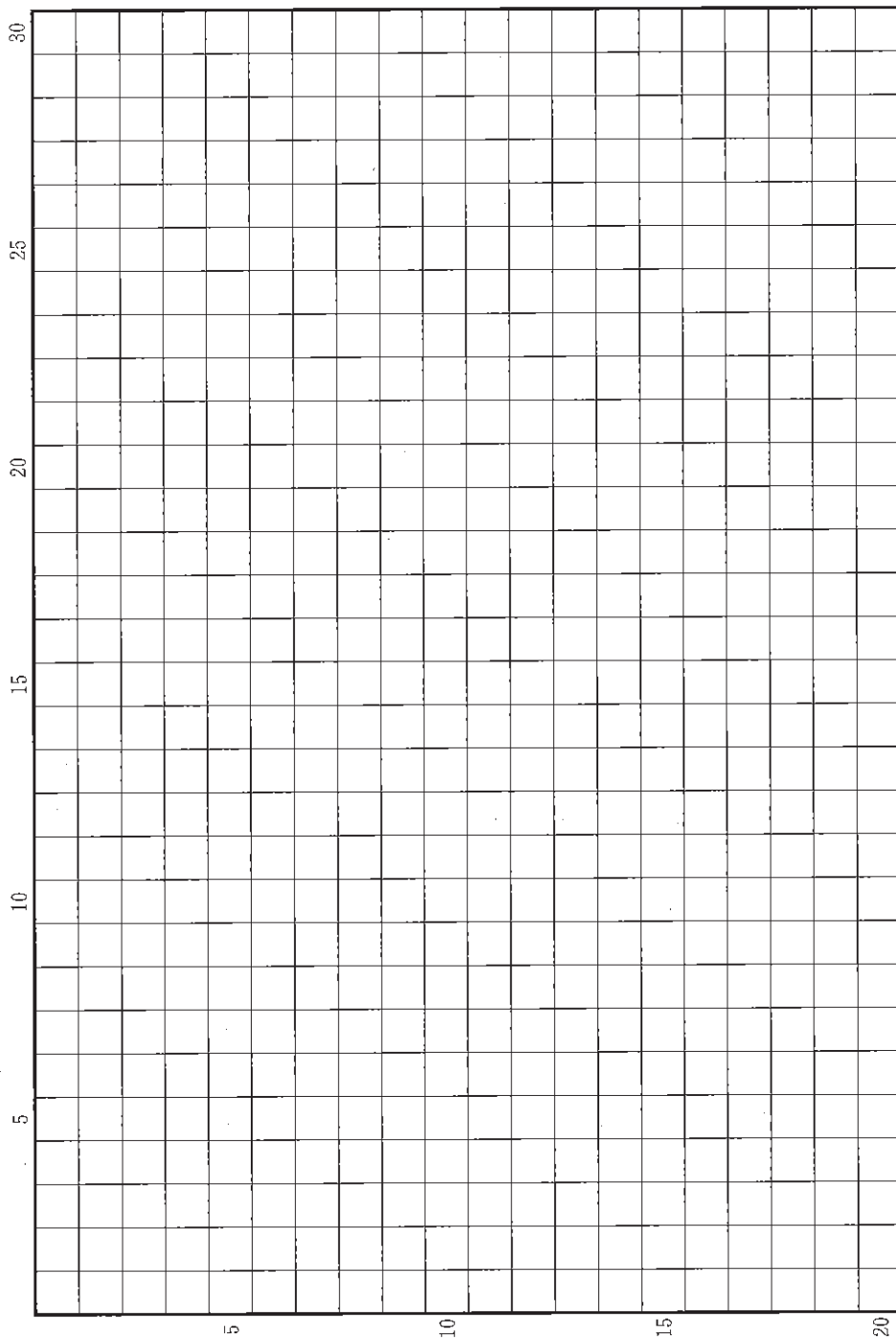
問(7) 13世紀に教皇の命を受けてカラコルムを訪れた修道士(a)は、旅行記を書き、モンゴル帝国の実情を初めて西ヨーロッパに伝えた。また十字軍への協力を得るためフランス王によってモンゴル帝国に派遣された修道士(b)も、貴重な報告書を残している。これらの修道士の名を、冒頭に(a)・(b)を付して記しなさい。

問(8) ヨーロッパ人によるアメリカ大陸の征服が、労働力としての酷使や伝染病の伝播によって先住民に災厄をもたらした一方で、アメリカ大陸原産の作物は世界各地に広がって栽培され、飢饉を減らし、人口の増大を支えるという恩恵をもたらした。これらの作物の名を、2つ記しなさい。

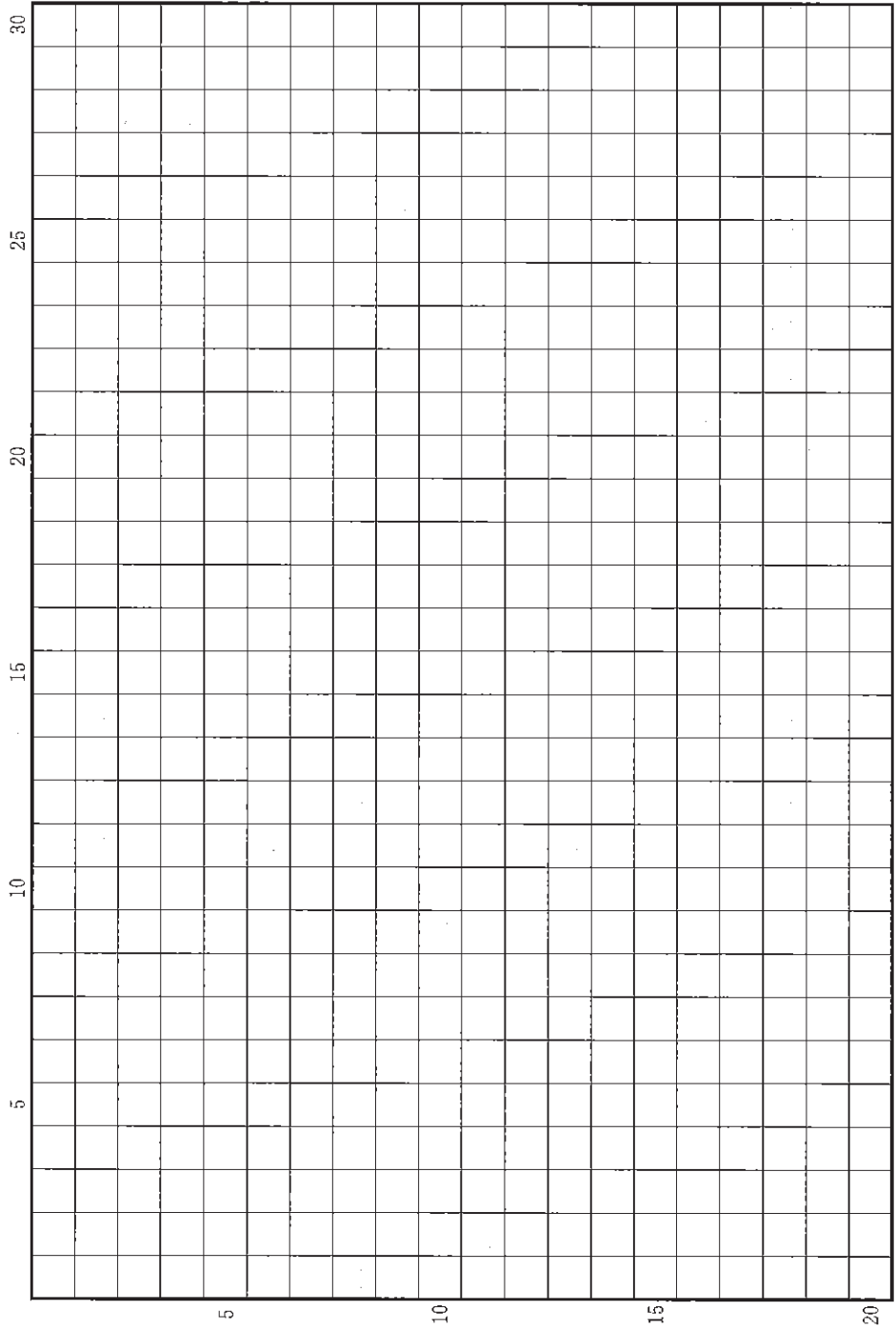
問(9) インドの伝統技術によって生産された、ある植物の花から紡がれ織られた製品は、丈夫で洗濯に強く、染色性にもすぐれていることから、17世紀にはヨーロッパでも人気を博し、さかんに輸入されるようになった。この製品の名を記しなさい。

問(10) 宗教の自由を求めてイギリスから北米大陸に渡ったピューリタンは、入植地をニューイングランドと呼んだ。やがて東部海岸地域にイギリスの13植民地が築かれるが、このうち北部のニューイングランドの植民地の名を2つ記しなさい。

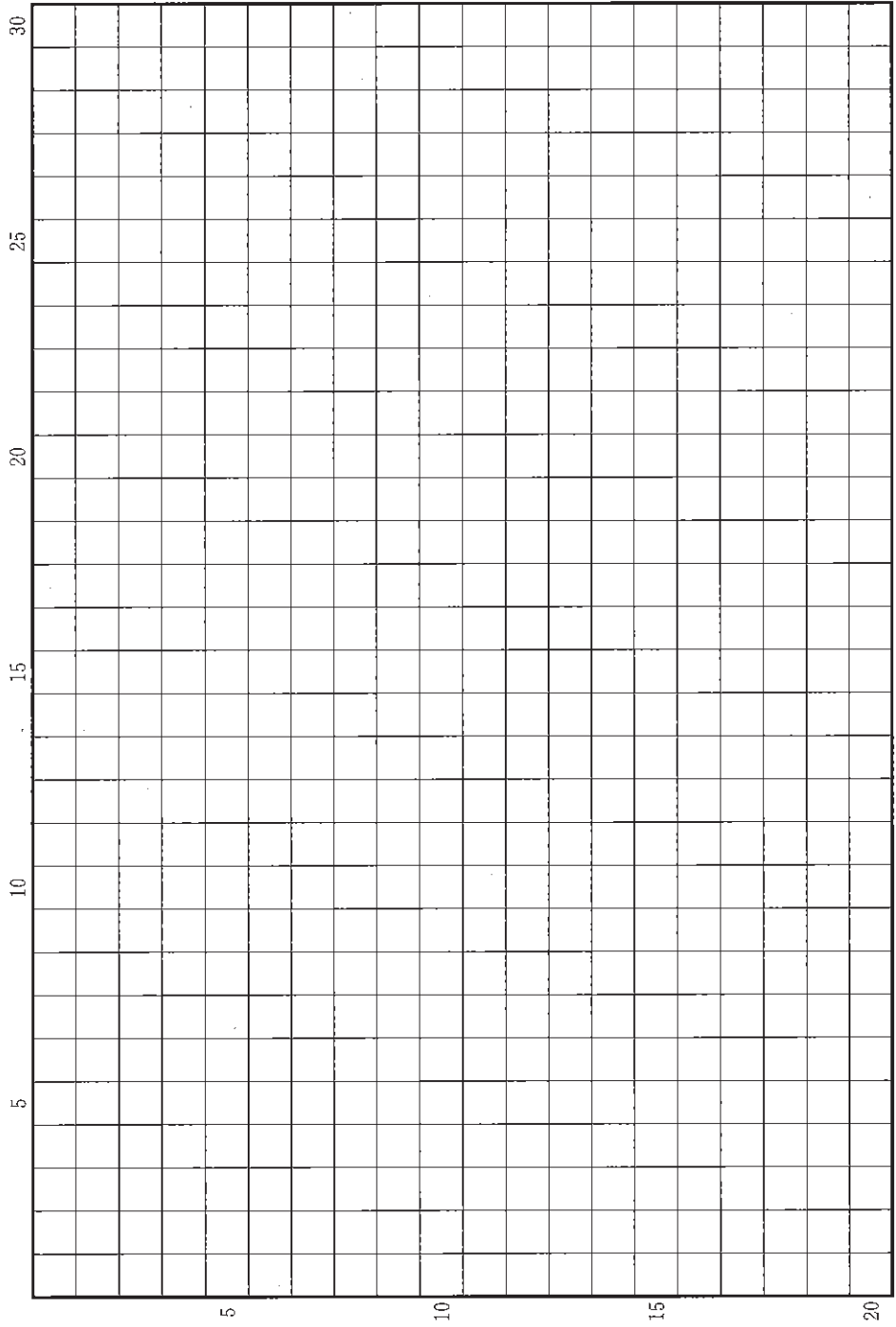
草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



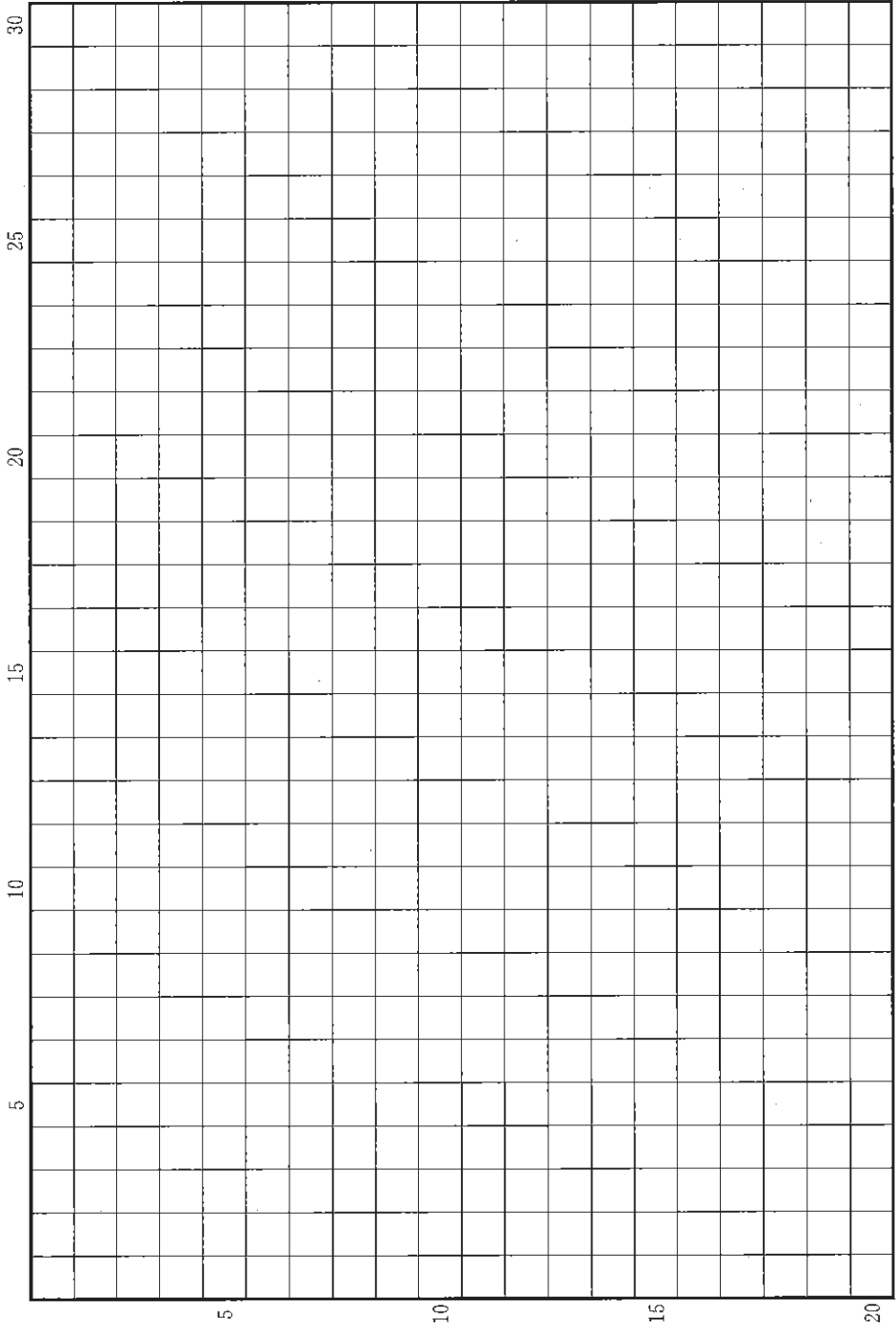
草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



地 理

第 1 問

自然環境と人間活動の関係に関する以下の設問 A～B に答えなさい。解答は、解答用紙の(イ)欄を用い、設問・小問ごとに改行し、設問記号・小問番号をつけて記入しなさい。

設問 A

図 1—1 は、東アジアから東南アジアにかけての海岸線と主要な河川(a～d)を示している。また図 1—2 中の P～R は、図 1—1 中のア～ウの各地点の月平均降水量の変化を示したものである。これらの図をみて、以下の問いに答えなさい。

- (1) 図 1—2 中の P～R に該当する地点の記号(ア～ウ)を、P—○のように答えなさい。
- (2) 図 1—1 中の河川 c の下流域では、かつて文明が栄えたことが知られている。都市の周辺には、巨大なため池が作られてきた一方で、川沿いの家屋は高床式となっているものが多い。その理由として考えられることを 2 行以内で述べなさい。
- (3) 図 1—1 中の河川 d の河口付近の海岸域では、ある植生が広がっており、2004 年に発生したインド洋津波による内陸への被害の軽減に役立ったと考えられている。他方、この植生は、河川 b の河口から河川 c の河口にかけての海岸地域を中心に、急速に失われている。この植生の名称と、失われた原因を、あわせて 2 行以内で述べなさい。

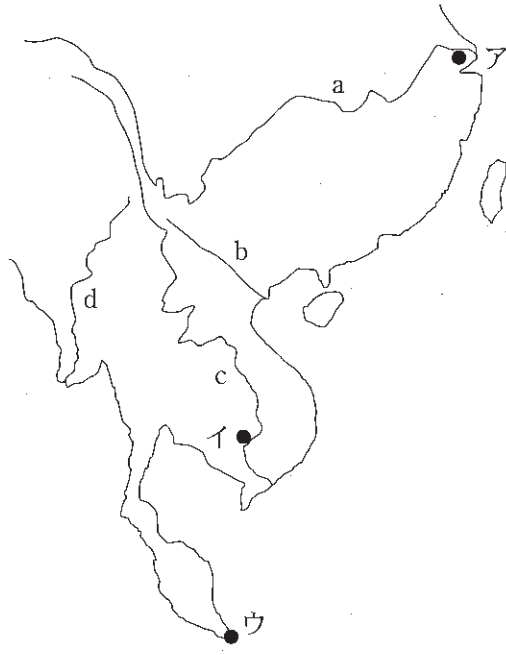


图 1—1

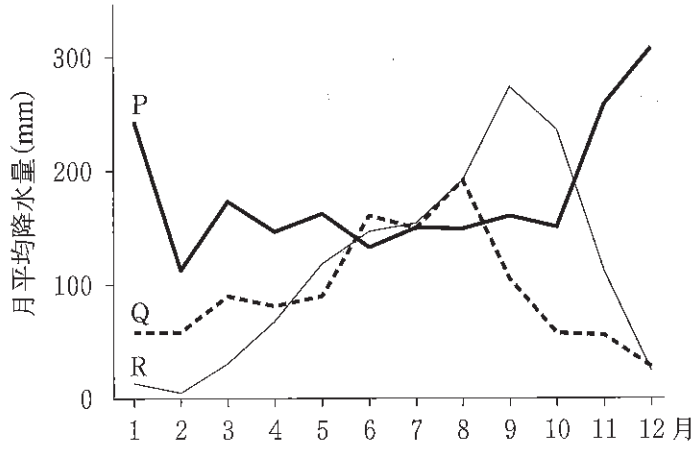


图 1—2

設問 B

メッシュマップは、地表面に一定の間隔の方眼線をかけ、各方眼の区域(メッシュ)ごとに土地の情報を示した地図である。コンピュータで扱いやすいため、地理情報システム(GIS)で使われる地図の代表的な形式の一つになっている。図1—3は、ある地域(地域X)の標高の分布をメッシュマップで示したものである。各メッシュに示された値はメッシュ内の平均標高(単位はm)である。図1—4は地域Xにおける人口の分布のメッシュマップで、各メッシュにおける人口が100人単位で示されている。両図の各メッシュの大きさは縦横ともに500mであり、方位は上が北である。

- (1) 地域Xには、海面、沖積低地、台地、山地、比較的大きな河川がある。これらの要素が地域の中でどこに分布しているかを3行以内で述べなさい。記述の際には他地域に関する次の例を参考にしなさい。「地域の中央に湖があり、北東部には扇状地がある。また、北西部から南西部にかけて深い峡谷があり、その底を河川が南に向かって流れている」。
- (2) 図1—4に示された人口の数値を用いて、地域Xの人口密度を算出し、単位をつけて答えなさい。有効数字は3桁とする。
- (3) 図1—3と図1—4に基づき、地域Xの人口の分布が地形にどのように影響されているかを、2行以内で述べなさい。

319	298	254	233	99	38
247	202	198	153	18	178
98	123	42	13	144	255
28	15	6	18	163	232
5	2	6	32	176	243
0	1	3	29	155	221

標高(m)

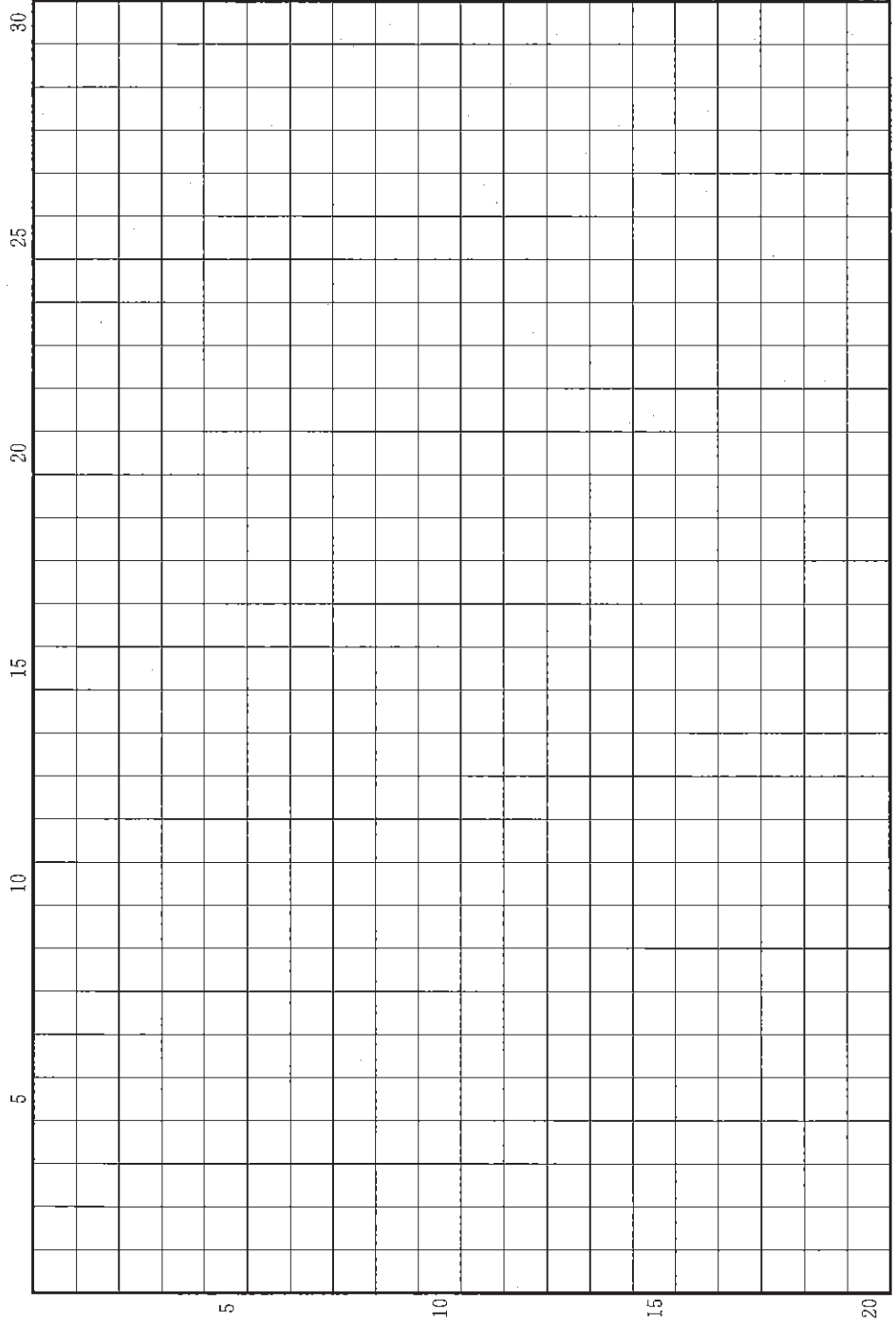
圖 1—3

0	0	0	0	2	1
0	0	1	2	1	2
1	2	3	2	2	0
3	5	2	5	1	0
6	2	10	3	1	0
0	1	4	3	0	0

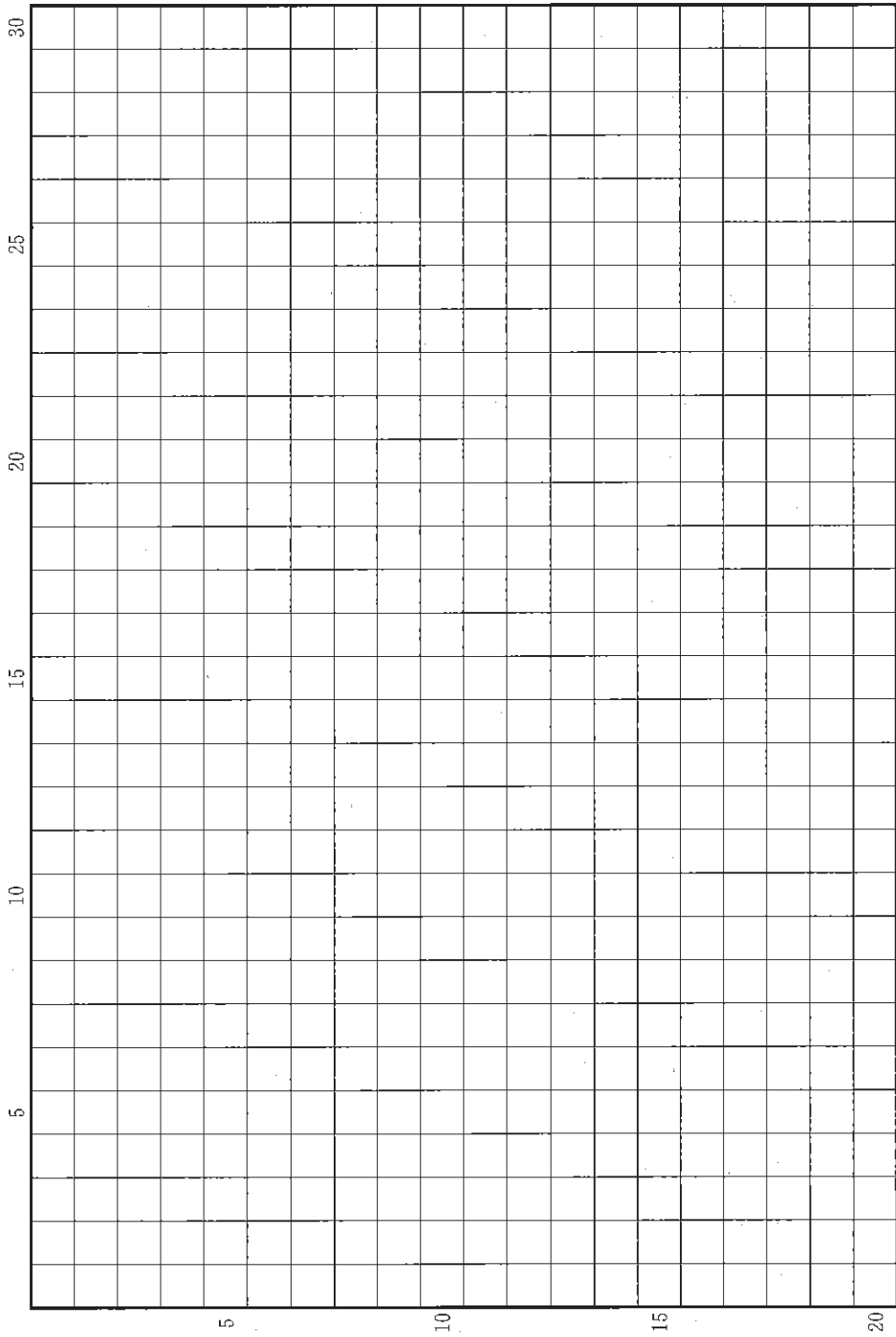
人口(× 100 人)

圖 1—4

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



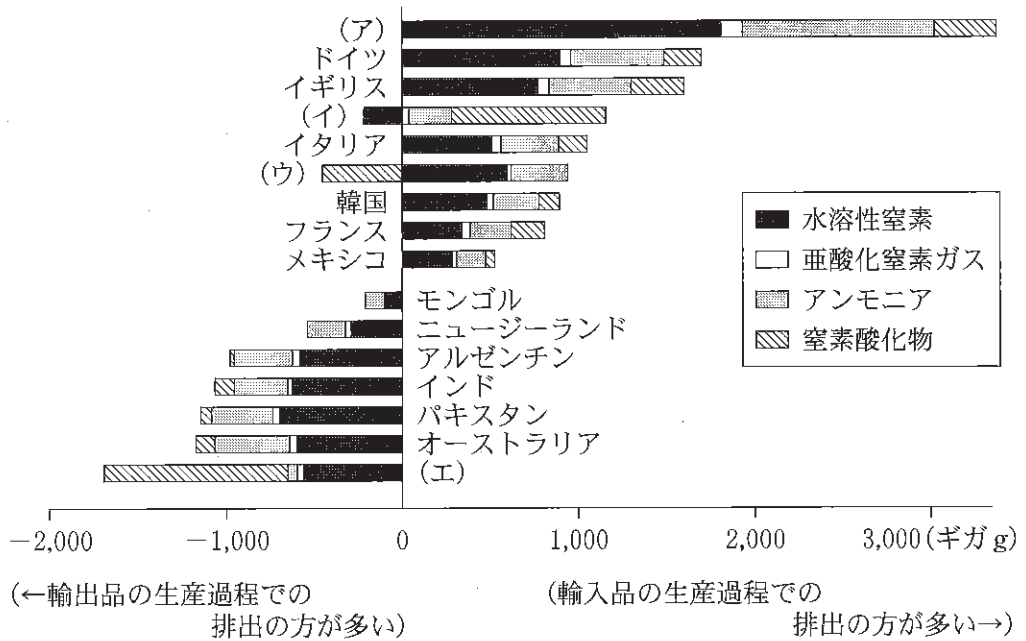
第 2 問

世界の国際貿易と国際旅行者に関する以下の設問 A～B に答えなさい。解答は、解答用紙の(ロ)欄を用い、設問・小問ごとに改行し、設問記号・小問番号をつけて記入しなさい。

設問 A

経済活動に伴って環境中に排出される窒素は、様々な環境問題を引き起こしている。各国が排出する窒素には、国内の経済活動で排出される分だけでなく、国際貿易に関係して排出される分もある。図 2—1 は、各国の輸入品の生産過程で排出された窒素量から、輸出品の生産過程で排出された窒素量を引いた差を示している。図 2—1 に記された窒素の種類のうち、水溶性窒素は農産物や軽工業製品の生産過程、亜酸化窒素ガスやアンモニアは農作物の生産過程、窒素酸化物は化石燃料の生産過程や火力発電で、その大部分が排出される。

- (1) 環境中への窒素の過剰な排出によって生じる悪影響の例を 1 つあげなさい。
- (2) 図 2—1 の(ア)～(エ)は、アメリカ合衆国、中国、日本、ロシアのいずれかである。それぞれの国名を(ア)―○のように答えなさい。
- (3) オーストラリアでは他の先進国に比べて、輸出品の生産による窒素排出量が輸入品の生産による排出量を大きく上回っている。その理由を、オーストラリアの主要な輸出品の特徴を踏まえて 2 行以内で述べなさい。
- (4) 地球環境への悪影響を防止するために、先進国を中心に窒素排出量を規制する動きが高まっている。しかし、世界全体の窒素排出量を削減するためには、各国の自主的な規制に任せるだけでなく、国際的なルール作りが必要とされている。その理由を、国際貿易に関連させて 3 行以内で述べなさい。



(Oita ほか, 2016 より作成)

図 2—1

設問B

近年、観光や商用などで外国を短期間訪問する国際旅行者が、世界的に増加している。表2—1は、2015年時点で外国からの旅行者の数が上位の国・地域について、外国人旅行者受け入れ数、自国人口100人あたりの外国人旅行者受け入れ数、人口1人あたり国民総所得(GNI)を示している。また、表2—2は、日本を訪れる旅行者が、2015年時点で上位の国・地域について、2005年と2015年の訪日旅行者数を示している。

- (1) 表2—1の(ア)～(ウ)は、下記の中のいずれかの国である。それぞれの国名を、(ア)～(ウ)のように答えなさい。

アメリカ合衆国 スペイン ドイツ フランス ロシア

- (2) (ア)国と(ウ)国は、自国人口100人あたりの外国人旅行者受け入れ数が著しく多い。その両国に共通する理由として考えられる自然のおよび社会的条件を、あわせて2行以内で述べなさい。

- (3) 表2—2からは、中国とタイからの訪日旅行者が、近年、とくに増加していることが読みとれる。中国とタイからの旅行者数が増加している共通の理由として考えられることを、下記の語句をすべて用いて、3行以内で述べなさい。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。

所得階層 政策 航空 入国管理

表 2—1

(2015 年)

順位	国・地域	外国人旅行者受け入れ数 (百万人)	自国人口 100 人あたり外国人旅行者受け入れ数 (人)	人口 1 人あたり国民総所得 (千ドル)
1	(ア)	84.5	131	37.1
2	(イ)	77.5	24	58.1
3	(ウ)	68.5	149	25.8
4	中国	56.9	4	8.0

国連資料による。

外国人旅行者の定義は国によって異なる。

中国には台湾・香港・マカオは含まれない。

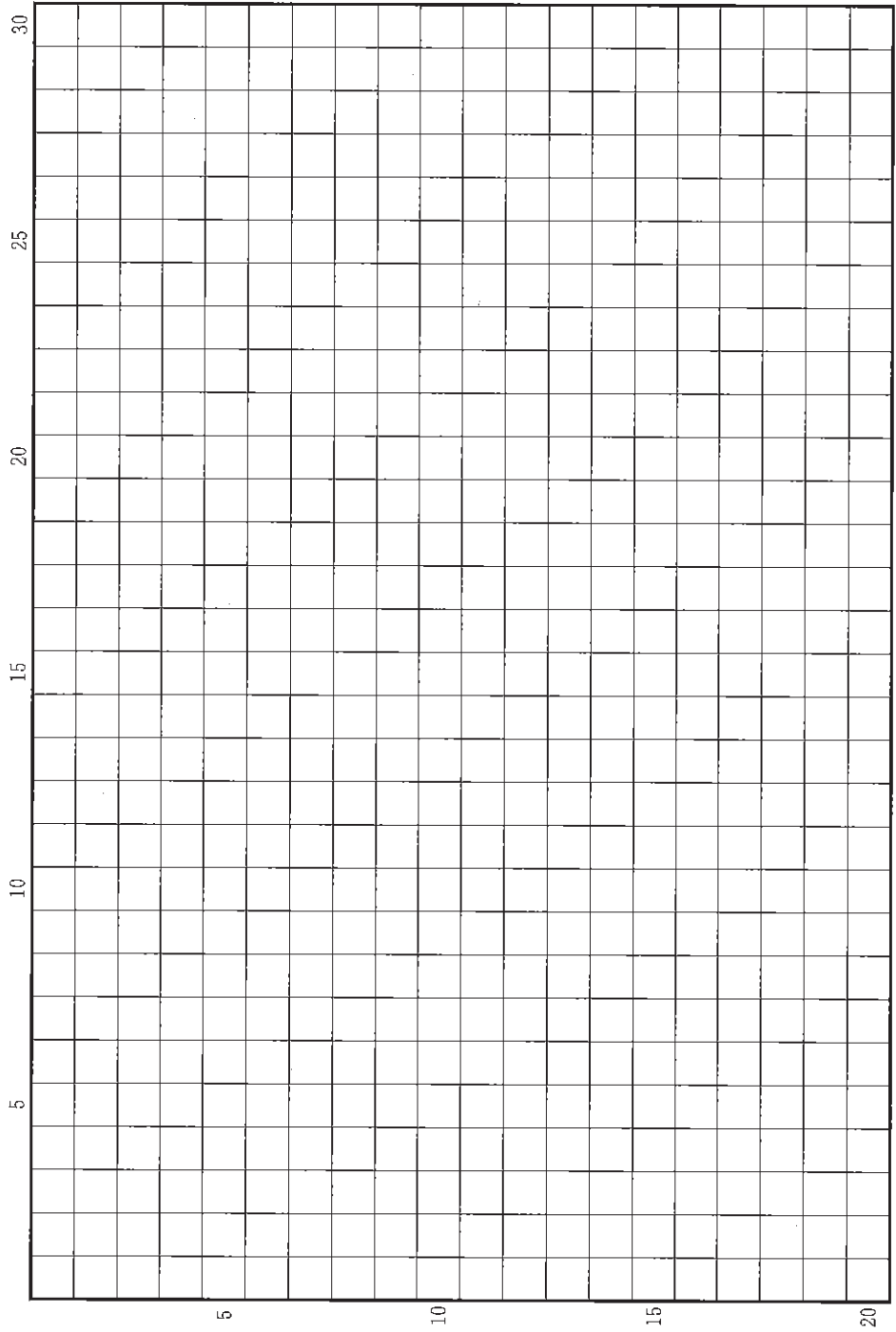
表 2—2

順位	国・地域	訪日旅行者数 (万人) 2015 年(a)	訪日旅行者数 (万人) 2005 年(b)	(a)/(b)
1	中国	499	65	7.6
2	韓国	400	175	2.3
3	台湾	368	127	2.9
4	香港	152	30	5.1
5	アメリカ合衆国	103	82	1.3
6	タイ	80	12	6.6
	世界計	1,974	673	2.9

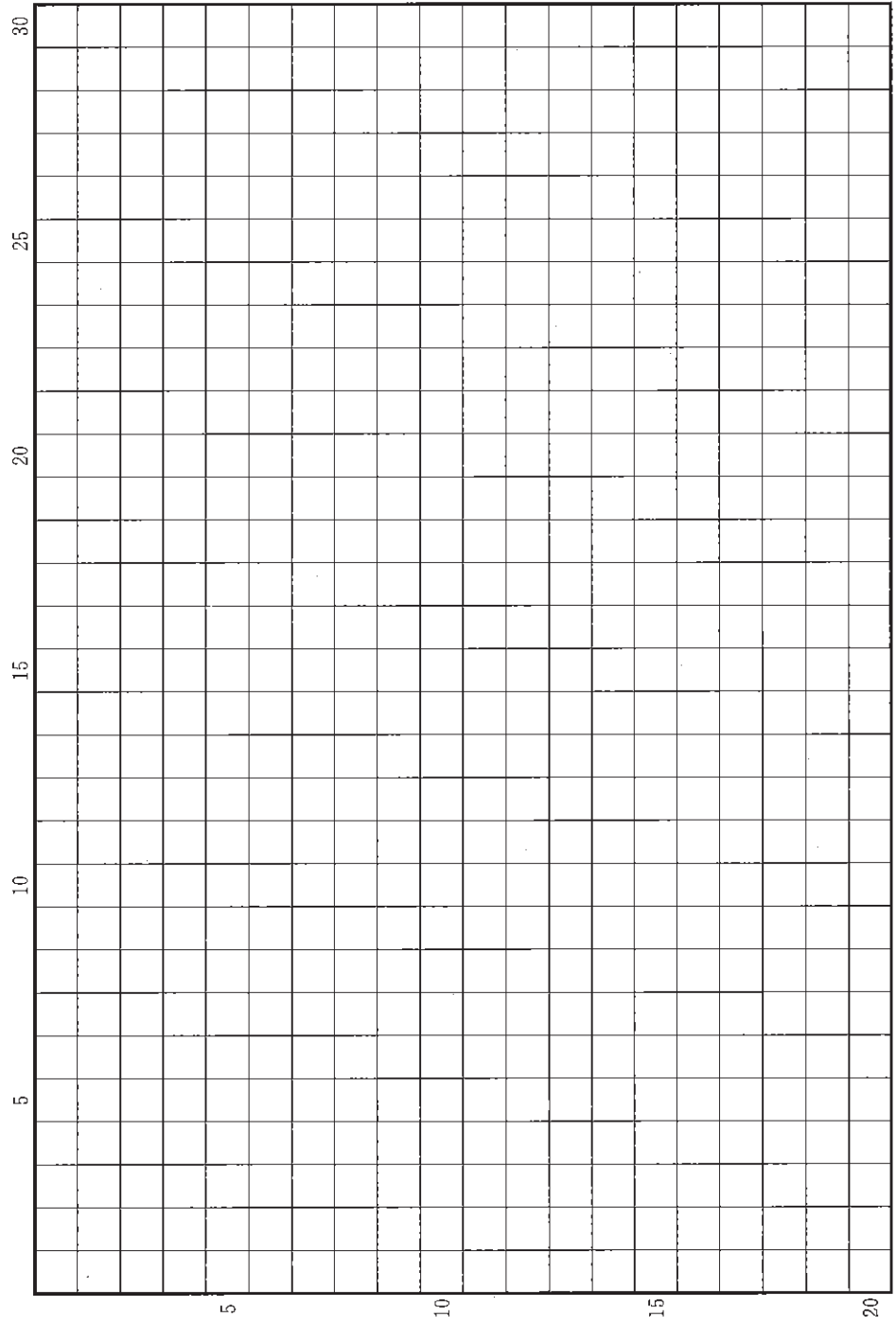
日本政府観光局資料による。

中国には台湾・香港・マカオは含まれない。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



第 3 問

日本の産業と国土に関する以下の設問 A～B に答えなさい。解答は、解答用紙の (ハ) 欄を用い、設問・小問ごとに改行し、設問記号・小問番号をつけて記入しなさい。

設問 A

表 3—1 は 2010 年と 2015 年について、それぞれの都道府県における 6 つの産業分類の就業者比率を都道府県別に示したものである。この表をみて、以下の問いに答えなさい。

- (1) 近年、知識経済化・情報社会化の進展が加速しているが、このことによって全国レベルでどのような地域的変化が生じていくと考えられるか。そのように判断した理由とあわせて 2 行以内で述べなさい。
- (2) 医療、福祉の就業者比率が高い都道府県にはどのような特徴があると考えられるか。2 つの点をあげ、あわせて 2 行以内で述べなさい。
- (3) 東日本大震災 (2011 年) 前後で被災地の産業構造はどのように変化したか。表から読み取れることを、変化の理由とあわせて 2 行以内で述べなさい。
- (4) 北海道と沖縄県にはどのような共通した経済的特徴があると考えられるか。2 行以内で述べなさい。

表3-1

2010年

	宿泊業、飲食サービス業	製造業	情報通信業	学術研究、 専門・技術サービス業	医療、福祉	建設業
北海道	6.2	8.1	1.6	2.6	11.6	8.9
福島県	5.5	20.1	0.9	2.0	10.2	9.0
東京都	6.1	9.8	7.0	5.2	8.0	5.4
滋賀県	5.2	26.5	1.2	2.7	9.8	6.2
大阪府	5.9	15.9	2.7	3.2	10.6	6.8
高知県	6.0	8.6	1.1	2.2	14.9	8.3
沖縄県	8.1	4.8	2.0	2.8	12.1	9.2

単位：％

2015年

	宿泊業、飲食サービス業	製造業	情報通信業	学術研究、 専門・技術サービス業	医療、福祉	建設業
北海道	6.0	8.4	1.7	2.6	13.4	8.4
福島県	5.1	18.5	0.9	2.4	11.2	10.8
東京都	5.7	10.1	7.6	5.6	9.2	5.2
滋賀県	5.2	26.7	1.2	2.6	11.6	5.9
大阪府	5.6	15.7	2.8	3.2	12.1	6.5
高知県	5.7	8.4	1.1	2.4	16.8	8.1
沖縄県	7.8	4.9	2.2	2.9	13.9	8.9

単位：％

国勢調査による。

設問B

次の文は、日本の5つの半島について、それぞれの特徴を説明したものである。以下の問いに答えなさい。

A 半島

この半島では、大手水産会社が手がける遠洋漁業の拠点が置かれ、ダイコンなどの畑作物の栽培が盛んであった。高度成長期に大都市の通勤圏が外側に拡大するなかで、住宅地開発が盛んに進められた。しかしながら、現在は、高齢化が進み、人口の減少が大きな問題となっている。

B 半島

この半島は、リアス式海岸で知られ、第2次世界大戦前から真珠の養殖が行われてきた。また、大都市圏に比較的近いために、私鉄会社が半島の先まで路線網を伸ばし、大都市圏から行楽客を多く集めてきた。外国の街並みなどを模したテーマパークが開発されたり、世界的に著名な高級ホテルが進出したりしている。

C 半島

この半島では、農業と漁業が中心産業であったが、1960年代に大規模工業基地の建設が計画され、広大な用地の買収、土地の造成がなされた。しかしながら、1970年代のオイルショックにより計画は頓挫した。その後、核燃料廃棄物関連の施設が立地しているものの、現在でも利用されないままの土地が少なくない。

D 半島

この半島には、国宝にも指定されている平安時代の大堂で知られる寺院をはじめ、歴史の古い寺院が多くある。最近では「昭和の町」として知られるまちづくりにより、観光客を集めている。かつては、海を挟んだ隣の県の農民が、ミカンの出作りをしたことでも知られるが、現在では休耕地も多くなっている。

E 半島

この半島では、平地は少ないが、棚田の風景は有名である。伝統産業として漆器産業が盛んであり、また 1970 年代には、農村労働力を求めて、繊維関係の工場が多く進出した。しかしながら、合繊不況により、繊維の工場は多くが閉鎖されている。従来から水産業、観光業が盛んであったが、最近ではその内容が大きく変わってきている。

(1) A～C の半島は、図 3—1 の①～⑦のいずれかである。該当する半島を A—○のように答えなさい。

(2) A 半島の下線部で示したように、大都市圏に比較的近い半島で、高齢化や人口減少が進んでいる理由を 1 行以内で説明しなさい。

(3) 一般的に、半島は、条件不利地として捉えられることが多く、典型的な過疎地域として指摘されることが多い。しかしながら、D 半島や E 半島では、空港の整備によって、地域経済が大きく変わってきている。D 半島、E 半島でのそれぞれの地域経済の変化について、以下の用語を用いて、あわせて 3 行以内で説明しなさい。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。

外国人 グローバル化 ハイテク産業

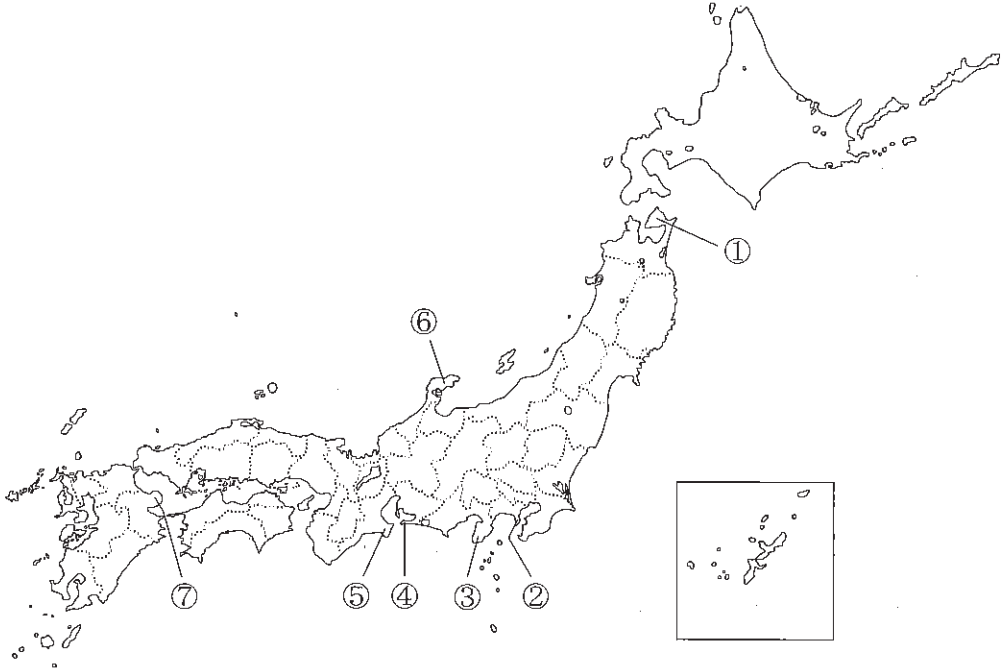


图 3—1

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)

